

1. フォーストアスナージでは、地域環境を構成する生物、土、水、地形地質および文化や社会といった基本構成要素にかかいる基礎科目を学びます。
2. セカンプアスナージでは、生物多様性や生態系に配慮した土地利用方法、地域防災や農業基盤に関連する保全・管理技術、環境教育や地域マネジメント手法などの専門科目を学びます。
3. サードアスナージでは、専門知識を活かし、持続可能な地域づくりを考究する実習・実験・実習及び卒業論文などの総合化科目を学びます。

教育方針・カリキュラムポリシー

1st Stage フォーストアスナージ	2nd Stage セカンプアスナージ	3rd Stage サードアスナージ	総学修科目数		外国語能力	学位	学位	学位
			必修科目	選択科目				
1 年前期	1 年後期	2 年前期	英語(一) 英語(二) 英語(三)	英語(一) 英語(二) 英語(三)	英語(一) 英語(二) 英語(三)	英語(一) 英語(二) 英語(三)	英語(一) 英語(二) 英語(三)	英語(一) 英語(二) 英語(三)
2 年前期	2 年後期	3 年前期	英語(四) 英語(五) 英語(六)	英語(四) 英語(五) 英語(六)	英語(四) 英語(五) 英語(六)	英語(四) 英語(五) 英語(六)	英語(四) 英語(五) 英語(六)	英語(四) 英語(五) 英語(六)
3 年前期	3 年後期	4 年前期	英語(七) 英語(八) 英語(九)	英語(七) 英語(八) 英語(九)	英語(七) 英語(八) 英語(九)	英語(七) 英語(八) 英語(九)	英語(七) 英語(八) 英語(九)	英語(七) 英語(八) 英語(九)
4 年前期	4 年後期	5 年前期	英語(十) 英語(十一) 英語(十二)	英語(十) 英語(十一) 英語(十二)	英語(十) 英語(十一) 英語(十二)	英語(十) 英語(十一) 英語(十二)	英語(十) 英語(十一) 英語(十二)	英語(十) 英語(十一) 英語(十二)

実験・実習・演習を柱としたカリキュラム体系

- 所定の科目を履修・単位取得し、卒業すれば取得可能
- 高等学校教諭一種農業
 - 学芸員
 - 司書
 - 測量士補
 - 技術士補
 - 自然再生士補
 - 樹木医補
- 在学中に受験可能。試験科目の一部免除が認められる
- 2級・3級造園技能士
- 在学中に受験可能
- 2級土木施工管理技士
 - 2級造園施工管理技士
- 卒業後 3 年以上の実務経験で受験可能
- 登録ラントスケーパーキナト

キャリアデザインを磨く資格取得(予定)

東京農業大学

Education & Study Field

地域創成科学科では、
こんなことが学べます。研究できます。



植物・エコロジー



世界遺産・文化的景観



樹木・樹木医



都市・再デザイン



生き物・ビオトープ



里山・棚田保全



伝統知・農文化



復興・防災・減災



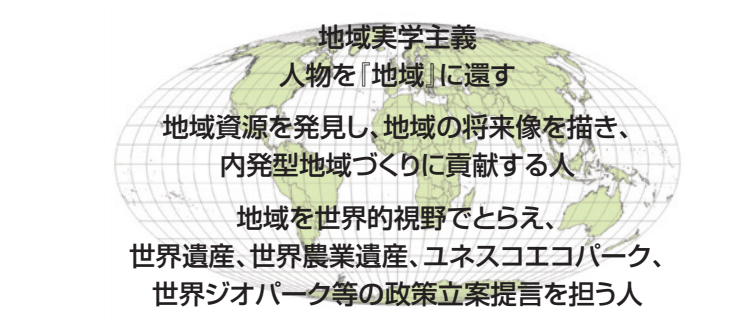
森・環境保全



流域・水環境

Career Design & Admission Policy

地域創成科学科
卒業生の活躍の場



地域創成科学科は、
次のような人を求めています

- (1) 地域づくりに強い好奇心・関心を持っており、それに関連する専門知識や技術を修得するための基礎的学力を有する者
- (2) 持続可能な地域づくりに向けて、広い視野を持ち、他者と協力して積極的に行動できる者



所在・問い合わせ先

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学
入試センター TEL 03-5477-2226 FAX 03-5477-2615
Mailアドレス nyushi@nodai.ac.jp
HPアドレス http://www.nodai.ac.jp/

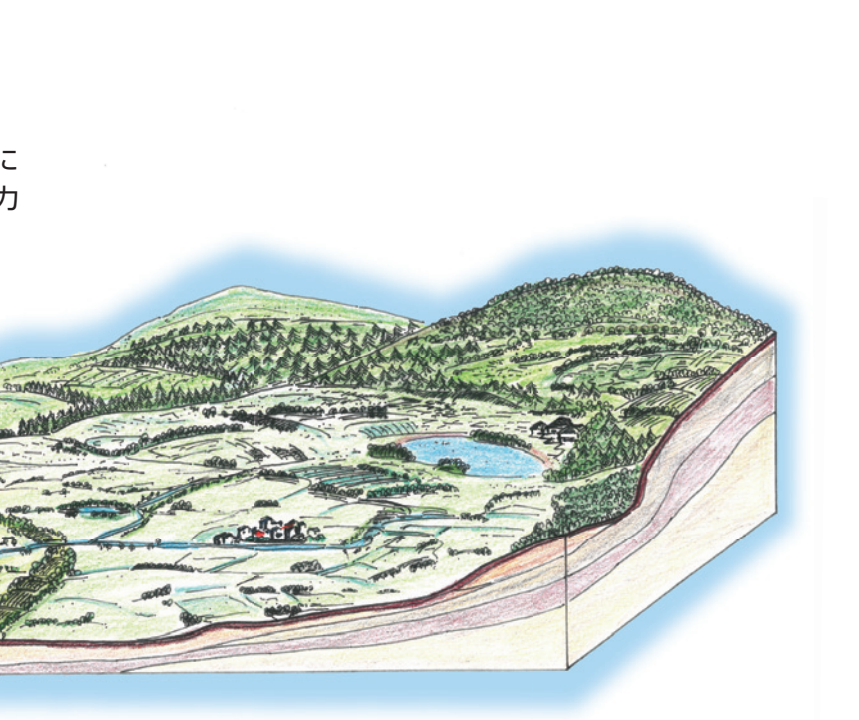
Regional Regeneration Science

Dept. of

地域環境科学部

地域創成科学科

自然環境の恵みを活かし
人と自然が共生する豊かな暮らしと
持続可能な地域環境の創成を目指す



人物を畑に還す
東京農業大学

Mission

地域創成科学の目指すもの

社会的使命と役割

地域創成科学は、これから挑戦する新しい学問分野です。

今日の切実な気候変動に対する緩和と適応、生物多様性の保全、防災・減災、故郷の風景の復興、縮退する農村地域の再生、環境が経済を生み出すグリーン経済等、これらすべてが『地域創成科学』の扱う課題です。

生態学(エコロジスト)、自然環境学(ナチュラリスト)、土木工学(エンジニア)、環境計画学(デザイナー)の4つの専門分野の視点から地域創成を科学します。



保全生態学研究室

武生 雅明 教授 博士(理学)
内田 均 教授 博士(農学)
亀山 慶晃 教授 博士(学術)
浅井 俊光 准教授 博士(造園学)

エコロジストの視点で地域を理解し、再生する

地域の自然を適切に保全・再生することを目的として、生物の生理生態的特性や生活史、生物の進化と集団の維持メカニズム、生物間相互作用、植生の管理手法に関して生態学的観点から研究を行う。

キーワード

生物多様性
生物間相互作用
生活史戦略
環境適応
ファイトレメディエーション
植栽技術
植生管理



八方尾根での繁殖フェノロジー観察

地域環境保全学研究室

鈴木 伸一 教授 博士(学術)
竹内 将俊 教授 博士(応用昆虫学)
下嶋 聖 助教 博士(造園学)

ナチュラリストの視点で地域を捉え、保全する

植物・植生、動物・昆虫など生物の観察、分布・生態調査をつうじて、地域内の自然環境と土地利用との関係における生物相や生態系を明らかにする。これら野外調査で得られたデータは、GISなど地理空間情報技術を用いて包括的にとらえ、土地利用の空間配列パターンとプロセス、およびその機能的つながりを研究する。

キーワード

野生動植物
生物の生息空間
植生景観・土地利用
GIS(地理情報システム)
リモートセンシング



ビオトープに生息する動物たち

地域環境工学研究室

竹内 康 教授 博士(工学)
本田 尚正 教授 博士(工学)
藤川 智紀 教授 博士(農学)

エンジニアの視点で地域を守り、創造する

持続可能な循環型社会の創出を目指し、土や水の基本的性質や力学に関する知識を活用して、頻発する自然災害、社会資本ストックの維持管理費の増大、農業によって排出される環境負荷の増大といった現在の地域社会が抱える課題を解決する。防災に強い地域づくり、循環型社会の創出に向けた農村の基盤整備に取り組む。

キーワード

農業基盤施設
地域防災
ストックマネジメント
農地保全
バイオリサイクル



農地基盤整備による国土保全

地域デザイン学研究室

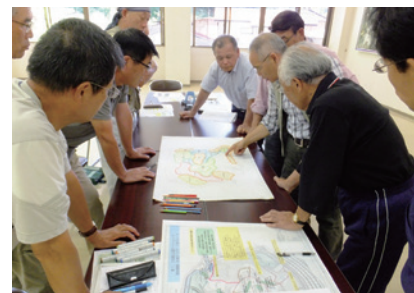
宮林 茂幸 教授 博士(農学)
入江 彰昭 准教授 博士(造園学)
町田 怜子 助教 博士(造園学)

デザイナーの視点で地域を発見し、計画する

自然と共にデザインする“Design with Nature”を重要なテーマとし、地域の自然にちょうどぴったりの環境創造、保全、再生の地域デザイン研究を志す。国際交流、都市農村、流域等の「地域連携」を通じて、文化・伝統知を継承した人と自然が共生する豊かな暮らしと地域らしい生業を導く「地域デザイン」の方法論と実践研究をする。

キーワード

環境デザイン・まちづくり
ESD・環境教育
観光レクリエーション計画
世界遺産・世界農業遺産
里山と文化的景観



住民ワークショップによる地域再生計画

『経験と実践』から『知恵と技』を学び、持続可能な地域環境を創成する人材を育成

豊富な実習と演習

地域交流実習

東京農大との連携協定による地域で食と農、環境体験、文化体験を通じた地元住民との交流実習。

地域創成フィールド実習(一)・(二)

地形・水環境、植物・動物、気象、景観、歴史、文化等の地域資源を発見する調査分析方法、地域づくりに活かす計画作法を学ぶ。

測量実習

距離測量、水準測量、平板測量、コンパス測量、トラバース測量までの一連の測量技術を学ぶ。現場計測から現況図の製図技法を習得する。



農家に学ぶ。現場からの気づき。



自然環境の調査分析、考察する。



フィールドサーベイ技術を学ぶ。

専門科目 共通科目	地域環境科学概論	地球環境と炭素循環	環境学習と体験活動						
			源流文化学						
専門教育科目	地域環境工学	基礎植物学*	里山生態学概論*	保全生態学*	地理情報システム論*	環境アセスメント論*	作物栽培管理学		地域創成関連法規
	保全生態学			環境植物学*	自然再生施工論*	樹木医学概論	土壌肥科学		
	地域環境工学	地域環境論*		野生動物と生息環境*		群集生態学	環境修復論		
	地域マネジメント分野	実用数物科学*		景観生態学*	野生動物資源の管理	植栽技術論	農域空間情報論*		
			地域創成フィールド実習(一)※	測量学*	農域防災論*	農域植生学	農域物質循環論*	農地保全学	
				土と水の科学*	環境教育学*	農業基盤工学	河川水文学	農と伝統文化	
					合意形成デザイン論*	地域環境計画学*	文化産業・観光計画学	農と健康	
						地域環境政策学			
教育内容	基礎・基本 学問への動機づけ教育 発見する学びの喜び				専門・応用 専門知識の解きほくし教育 理解する学びの楽しさ			総合化・展開 総合化の自信づけ教育 実践・解決する学びの達成感	

地域の自然環境・生業・伝統文化と最新技術を活かし、地域再生・活性化に貢献する人材育成



実践的専門教育

地域創成総合実習(一)・(二)

自然環境・社会環境調査から抽出発見された地域資源を活かし、グループディスカッションなどを通じて持続的地域づくりの計画作法などを学ぶ。



デザインワークショップ作法を学ぶ。

農山漁村インターンシップ

国内外の都市や農山漁村等の暮らしや生業を体験し、業と地域文化の関連に理解を深め、地域再生、地域活性化に貢献する人材育成のためのインターンシップ研修。



プロから学ぶ。先輩から学ぶ。

卒業論文

課題発見から問題解決に至る研究作法を学ぶ。保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学の各研究室で行う。



研究成果を発表する。